

日米合作 ブロードウェイミュージカル『RENT』

稽古場レポート&演出家コメントが到着！ 8月21日(□) から東京・大阪にて上演。

8月21日から東京・大阪で上演する日米合作 ブロードウェイミュージカル『RENT』。NY イースト・ヴィレッジに生きる若者たちの姿をビビッドに描き、ピューリッター賞やトニー賞などに輝いた、ロック・ミュージカルの金字塔でもある「RENT」は、ブロードウェイでは2008年9月まで、12年にわたってロングラン上演を行い、計5124公演を記録。2006年に映画化もされた同作。これまで来日していたツアーカンパニーとは異なり、この日本で1から作り上げる今回の日米合作版。1ヶ月に渡り行われている稽古場からレポートをお届けします！

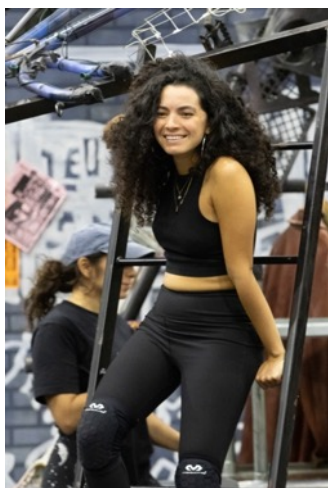
演出家トレイ・エレットからは今回のカンパニーについてのコメントも到着しました。



アメリカから届いたセットが仮組みされ、交わされる言葉は全て英語による稽古場は、ニューヨーク・イーストヴィレッジの雰囲気を出している。この日は、キャストほぼ全員による「Happy New Year B」「Rent」「La Vie Boheme」「Big Bells」、そしてマーク・ロジャー・ベニー・エンジェル・コリンズによる「You'll See」と、休憩をはさみながら進んでいく稽古の様を見つけることとなった。



演出の Trey Ellett が「OK, Everybody! Let's Go!」と声をかけ、「Happy New Year B」がスタート。楽曲のフレーズに対応してキャスト各人がどのように動き、どのような仕草をするか、演出助手、あるいは Trey 自身が細かく指示していく。その様子は、もちろん皆集中していながらも、どこか和やか。Trey が示した動作にミミ役の Chabely Ponce が「Trey, that's great!」と応じて皆が笑顔になった一コマなどに、それが表れていたように思う。



ミミ役：Chabely Ponce



マーク役：山本耕史 ロジャー役：Alex Boniello

マーク役の山本耕史とロジャー役の Alex Boniello に対しても、その場を去ろうとするロジャーの腕をマークがつかんで止める時のふたりの位置取りや、腕のどこをつかむのか、腕をつかまれたらどう動くのか、Trey が実演。山本と Alex も何回か繰り返すうちに動きがぴったりとかみ合い、Trey は「Good!」とサムズアップ。山本について、Trey は「こちらが言ったことをすぐにできるようになる」と言っていたが、そうした吸収の速さが伝わってきた。

「Rent」では、マークが「Power of love!」と発すると一気に全員のアクションが加速。それぞれの動きを繰り返し確認しながら、マークとロジャーが額を合わせる姿が印象的なサビまで、1 曲を通す。何度も繰り返し行う稽古だけに、さすがにフルパワーのボリュームではないにしても、キャスト全員が声を重ねた時の音圧には圧倒される。

「La Vie Boheme」の開始前にはキャスト各々が衣裳のコートを羽織って待機。その時コリンズ役の Aaron A. Harrington が自分のパートを口ずさんでいたのだが、低音の響きがあまりに素晴らしく、耳を奪われた。音域の広さ、声量の豊かさも相まって、彼の歌声はこの公演の大きな魅力のひとつではないだろうか。エンジェル役 Jordan Dabson もファルセットが艶やかで、チャーミングな役どころにぴったりの芝居に加えて華やかさもある。コリンズ & エンジェルのカップルには、舞台上でぜひ注目してほしい。



コリンズ役：Aaron A. Harrington
エンジェル役：Jordan Dabson

「Big Bells」はアンサンブルの絶妙なハーモニーから始まり、各パートが徐々に重なって最後にはひとつになる。あまりにエモーショナルで、心が揺さぶられずにはいられない。ジョナサン・ラーソンの生んだ楽曲の素晴らしさをあらためて実感する楽曲で、Treyが「Good job guys, very good!」と言ったことも納得だ。

「You'll See」ではロジャー役の Alex、ベニー役の Aaron James McKenzie の動きを中心に進め、この日の稽古は終了。「オツカレサマデシタ！」とにこやかに帰っていくキャストの笑顔がまぶしかった。

限定された場面の稽古だったが、これからどんどんレベルアップしていくことがわかる。この明るくクリエイティブにあふれる稽古場であれば、よい公演にならないわけがない。舞台の幕が上がり、そして千秋楽を迎えるまで、彼らは進化・深化し続けることだろう。

text : 金井まゆみ photo : 岩村美佳

演出家 : Trey Ellett コメント

稽古はとても順調で、予定よりも先に進んでいます。山本耕史さん、Crystal Kay さんをはじめキャストは皆とても才能にあふれていて、何事もすつと頭に入っていく。今とてもハッピーな状態ですよ。

耕史さんは、以前は日本語でマークを演じて、今回は英語で演じている。2か国語で演じるなんていったいどうすればできるんだろうと、私自身不思議に思うくらいの素晴らしさです。とてもいい動きをされる俳優だと思いますし、シンガーとしてもダンサーとしても大変な才能を持っている。非常に印象的ですし、とても感動しています。

今回は MIX キャストとして日本とアメリカの俳優が共に『RENT』を演じていますが、稽古が始まるとあっという間に皆が仲良くなりました。とても楽しい雰囲気ですし、『RENT』のテーマとも相まって、皆の間の絆も感じられる。順調に初日を迎えられるだろう、という予感がしています。



<公演概要>

【公演名】日米合作 ブロードウェイミュージカル『RENT』

脚本・作曲・作詞：ジョナサン・ラーソン

演出：トレイ・エレット 初演版演出：マイケル・グライフ

振付：ミリ・パーク 初演版振付：マーリス・ヤービィ

音楽監督：キャサリン・A・ウォーカー

出演：山本耕史、Alex Boniello、Crystal Kay、Chabely Ponce、Jordan Dobson、Leanne Antonio
Aaron A. Harrington、Nasia Thomas、Aaron James McKenzie ほか

※全編英語上演（日本語字幕あり）

【開催日/会場】

<東京公演> 2024年8月21日(水)～9月8日(日) 合計23公演

会場：東急シアターオーブ（渋谷ヒカリエ11F） <https://theatre-orb.com>

<大阪公演> 2024年9月11日(水)～9月15日(日) 合計7公演

会場：Sky シアターMBS（JPタワー大阪6F） <https://stm-mle.jp>

【チケット料金（税込・全席指定）】

S席 16,500円、A席 12,500円、B席 9,500円、エンジェルシート 8,000円

*注意事項は公式HPをご確認ください。

公式HP = <https://rent2024.jp>

【お問い合わせ】

<東京公演> キョードー東京 0570-550-799（平日 11:00-18:00/土日祝 10:00-18:00）

<大阪公演> 梅田芸術劇場 06-6377-3800（10:00～18:00）